

7

願いごと



わたしはコップの冷たい牛乳をちびちび飲み、犬は台所の隅にある新しい自家用のボウルから、水をガブガブ飲んだ。この台所にも、この家にも、だいふなれてきたようだ。

あんたが大きいだつてことと、ここにずうつといいていいつてこと、わかってくれてるといいんだけど。

コップを流しにおいて台所を出ると、自分の部屋に入った。コラおばさんがおばさんが教会に花を飾り終えて帰ってくる前に、いろいろと考えておかなかんやならないことがある。

ベッドにすわると、ベッドカバーが目に入る。コラおばさんがつくってくれたパッチワークのキルト。青と緑の布を組み合わせたキルトは、この島をとりまく海、おだやかな日の海の色だ。涙があふれそうになって、窓を見た。カーテンが風にふかれ、網戸をたたいている。足もとには、青と紫の古布で編んだマット。おばさんといっしょにくつたものだ。